

ITA\_利用手順マニュアル

エクスポート/インポート

*－*第1.6.1版*－*

Copyright © NEC Corporation 2019. All rights reserved.

免責事項

本書の内容はすべて日本電気株式会社が所有する著作権に保護されています。

本書の内容の一部または全部を無断で転載および複写することは禁止されています。

本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任を負いません。

日本電気株式会社は、本書の内容に関し、その正確性、有用性、確実性その他いかなる保証もいたしません。

商標

* LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Red Hatは、Red Hat, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
* Apache、Apache Tomcat、Tomcatは、Apache Software Foundationの登録商標または商標です。
* Ansibleは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。
* AnsibleTowerは、Red Hat, Inc.の登録商標または商標です。

その他、本書に記載のシステム名、会社名、製品名は、各社の登録商標もしくは商標です。

なお、® マーク、TMマークは本書に明記しておりません。

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

**目次**

[はじめに 3](#_Toc36659070)

[1 エクスポート/インポートの概要 4](#_Toc36659071)

[2 エクスポート／インポートのメニュー、画面構成 5](#_Toc36659072)

[2.1 メニュー 一覧 5](#_Toc36659074)

[3 機能・操作方法説明 6](#_Toc36659075)

[3.1 メニューエクスポート 6](#_Toc36659076)

[3.2 メニューインポート 8](#_Toc36659077)

[3.3 エクスポート/インポート管理 10](#_Toc36659078)

[3.4 Symphony/オペレーションエクスポート 11](#_Toc36659079)

[3.5 Symphony/オペレーションインポート 12](#_Toc36659080)

[3.6 Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理 14](#_Toc36659081)

[4 備考 15](#_Toc36659082)

[4.1 Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて 15](#_Toc36659083)

[4.1.1 Symphonyエクスポート 15](#_Toc36659084)

[4.1.2 オペレーションエクスポート 19](#_Toc36659085)

はじめに

本書は、ITAのエクスポート/インポートの機能および操作方法について説明します。

# エクスポート/インポートの概要

本章ではエクスポート/インポートの機能、操作方法について説明します。  
エクスポート/インポートは、以下の２つの方法でデータを移行する機能を提供します。

(1) メニュー

移行したいITAのメニューを選択し、メニュー単位でデータを上書きで移行します。

ITAサーバA

Kymﾌｧｲﾙ

インポート

エクスポート

Kymﾌｧｲﾙ

ファイル

ITAサーバB

**選択した ﾒﾆｭｰ**

ﾒﾆｭｰA

ﾒﾆｭｰＢ

ﾒﾆｭｰC

ﾒﾆｭｰC

ﾒﾆｭｰＢ

ﾒﾆｭｰC

ﾒﾆｭｰC

ﾒﾆｭｰA

(2) Symphony／オペレーション

移行したいSymphonyとオペレーションを選択し、Symphonyとオペレーションに紐づくデータを上書きで移行します。紐づくデータについては、「[4.1 Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて](#_Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて)」を参照してください。

選択されたデータ

選択されたデータ

紐づくデータ

投入ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ一覧

Symphony一覧

ﾒﾆｭｰB

ﾒﾆｭｰB

**選択した Symphonyとｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝと紐づくﾃﾞｰﾀ**

紐づくデータ

選択されたデータ

選択されたデータ

紐づくデータ

ITAサーバB

Kym2ﾌｧｲﾙ

ファイル

エクスポート

インポート

Kym2ﾌｧｲﾙ

ﾒﾆｭｰA

投入ｵﾍﾟﾚｰｼｮﾝ一覧

Symphony一覧

ﾒﾆｭｰB

ﾒﾆｭｰB

紐づくデータ

ﾒﾆｭｰA

ITAサーバA

# エクスポート／インポートのメニュー、画面構成

本章では、エクスポート／インポートのメニュー、画面構成について説明します



## メニュー 一覧

エクスポート／インポートのメニューを以下に示します。

**表 2-1 ITAメニュー一覧**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **No** | **メニュー**  **グループ** | **メニュー・画面** | **説明** |
| 1 | エクスポート/インポート | メニューエクスポート | メニューのデータをエクスポートします。 |
| 2 | メニューインポート | メニューのデータをインポートします。 |
| 3 | エクスポート/インポート管理 | [メニューエクスポート]メニューで実行したエクスポートと、[メニューインポート]メニューで実行したインポートの状況を管理します。 |
| 4 | Symphony/オペレーションエクスポート | Symphonyまたはオペレーションに紐づくデータをエクスポートします。 |
| 5 | Symphony/オペレーションインポート | [Symphony/オペレーションエクスポート]メニューでエクスポートしたデータをインポートします。 |
| 6 | Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理 | [Symphony/オペレーションエクスポート]メニューで実行したエクスポートと、[Symphony/オペレーションインポート]メニューで実行したインポートの状況を管理します。 |

# 機能・操作方法説明

## メニューエクスポート

ITAシステムに登録されているデータを、メニューごとにエクスポートします。

* データを別のITA環境に移す場合、すべてのメニューを対象に移動しないとデータの整合性が壊れる可能性があります。

1. エクスポートするメニューを選択します。

##### C:\Users\113414A009FT8\Desktop\20160220131903.png

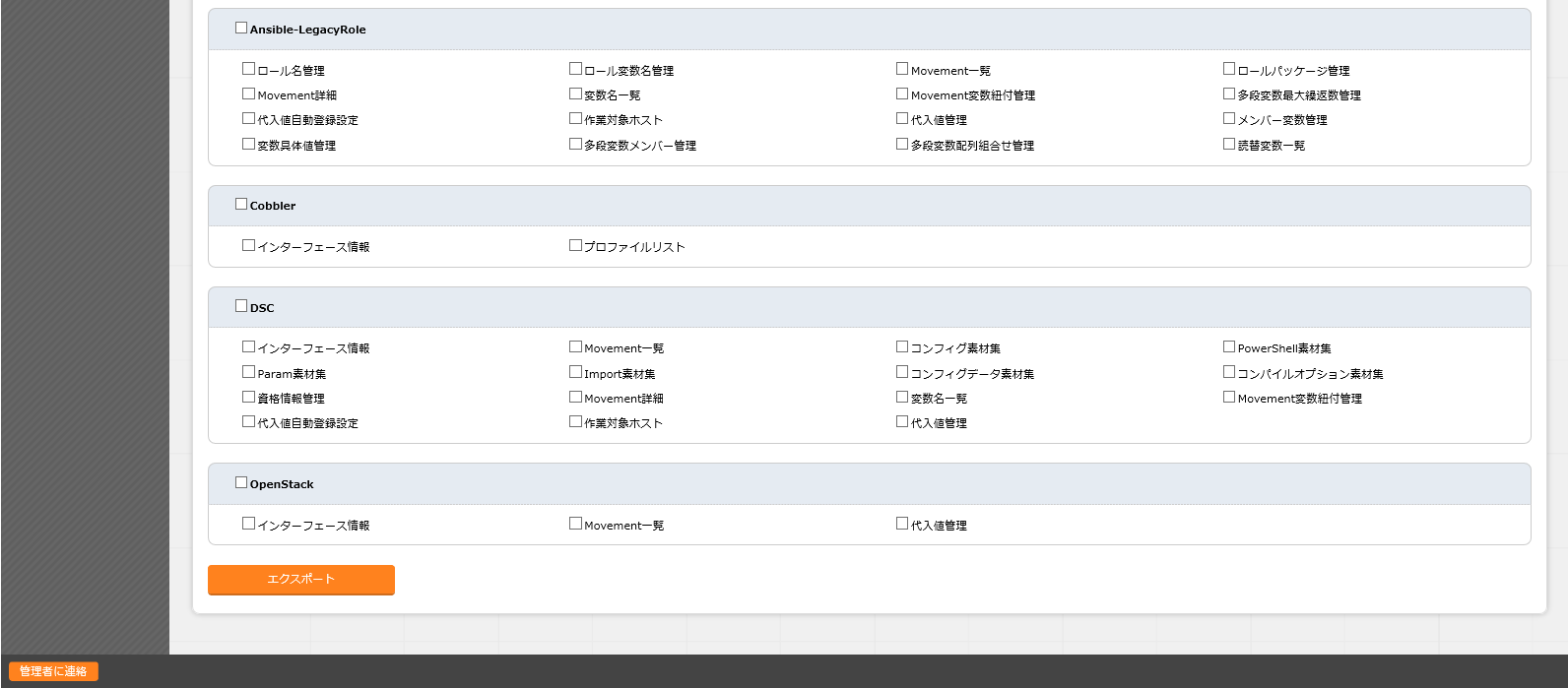


図 3‑1 メニューエクスポート画面(1)

1. メニューを選択後、「エクスポート」ボタンを押下します。

エクスポート処理の実行№が表示されるので、エクスポート/インポート管理画面で処理のステータスを確認してください。

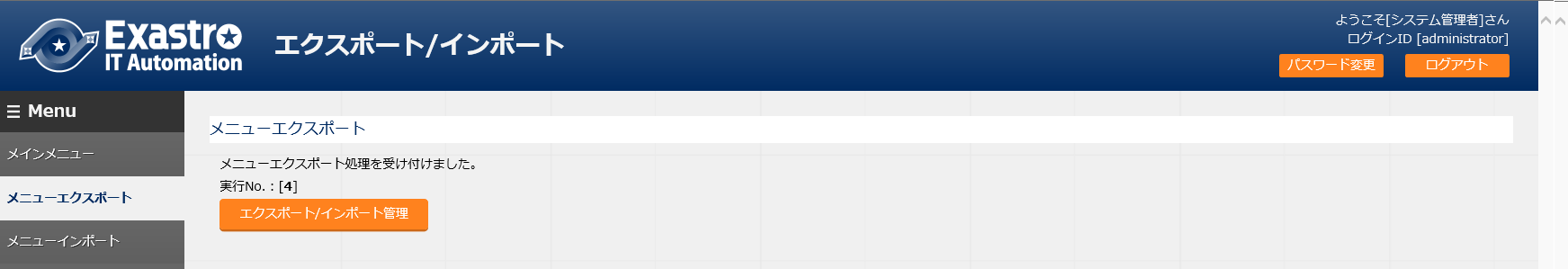


図 3‑2 メニューエクスポート画面(2)

## メニューインポート

[メニューエクスポート]メニューでエクスポートしたデータをインポートします。

1. インポートするファイルを選択して「アップロード」ボタンを押下します。

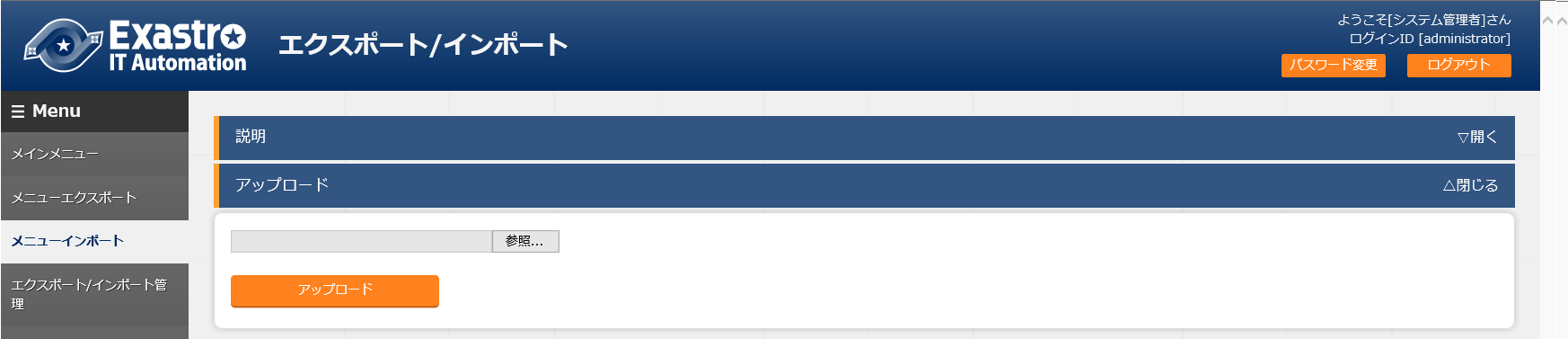


図 3‑3 メニューインポート画面(1)

1. インポートしたファイル内のメニューの一覧が表示されます。インポートするメニューを選択して「インポート」ボタンを押下します。廃止データをインポートしない場合は「インポート（廃止を除く）」ボタンを押下してください。

チェックボックスがチェックされているメニューがインポートされます。  
インポートする必要がないメニューは、チェックは外してください。

C:\Users\113414A009FT8\Desktop\20160220131903.png

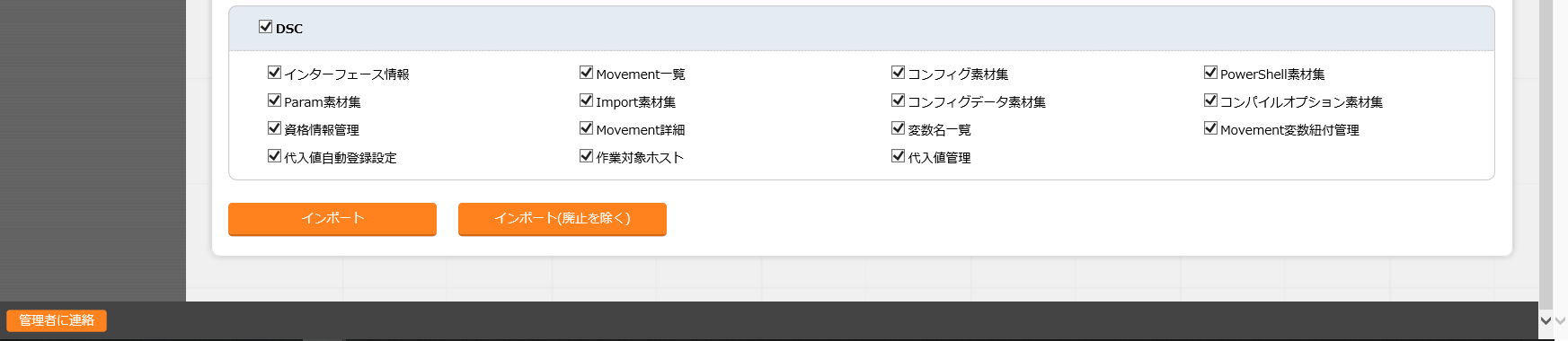


図 3‑4メニュインポート画面(2)

1. 受付画面に遷移します。「エクスポート/インポート管理」ボタンを押下すると、[エクスポート/インポート管理]メニューに遷移してインポートの状況確認が行えます。

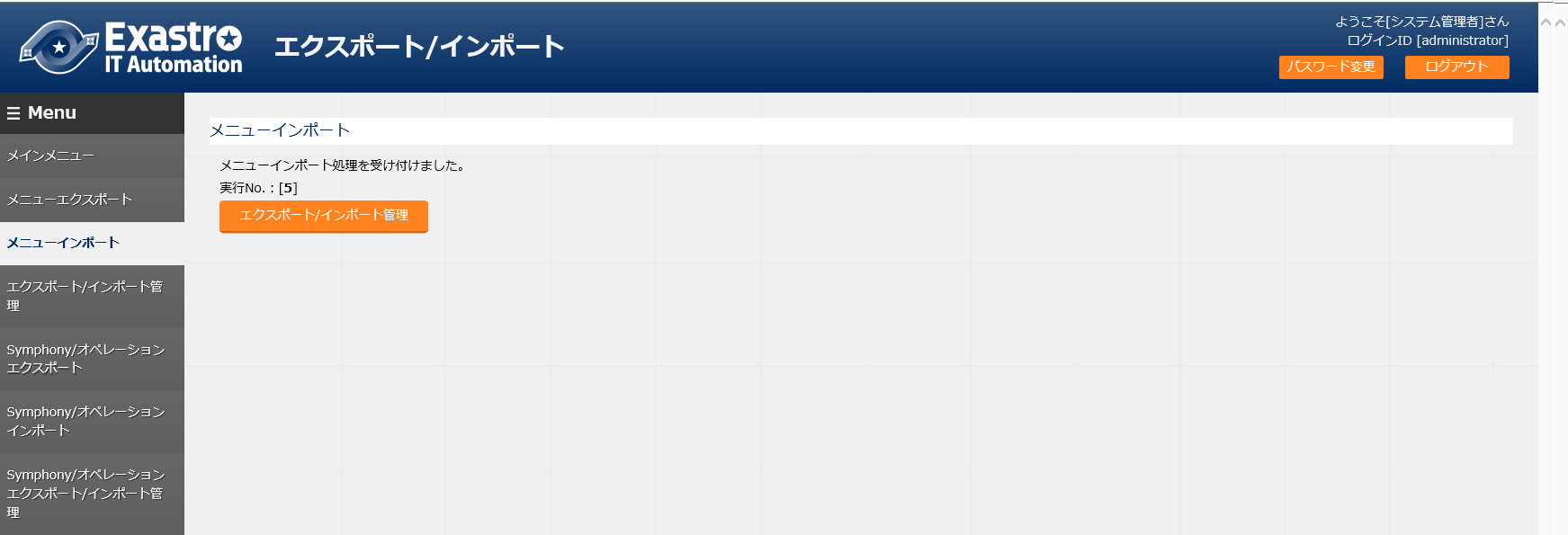


図 3‑5 メニューインポート画面(3)

## エクスポート/インポート管理

[メニューエクスポート]メニューで実行したエクスポートと、[メニューインポート]メニューで実行したインポートの状況を管理します。

ステータスは、「未実行」、「実行中」、「完了」の順に変わります。

処理種別は、「エクスポート」または「インポート」が表示されます。

インポート種別は、処理種別が「インポート」の場合に「通常」または「廃止を除く」が表示されます。

フィルタボタンをクリックしてステータスが「完了」になったことを確認してください。

ファイル名は、エクスポートの場合は「完了」になるとエクスポートデータが表示されるので、ダウンロードして使用してください。インポートの場合はインポートしたデータが表示されます。

インポート処理でエラーが発生した場合は、ステータスが「完了(異常)」になります。



図 3‑6 エクスポート/インポート管理画面

表3‑1　一覧画面項目一覧（エクスポート/インポート管理）

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **説明** |
| 実行No. | 一意のIDが自動採番されます |
| ステータス | 「未実行」、「実行中」、「完了」の順に遷移します。  エラーが発生した場合は、「完了(異常)」になります。 |
| 処理種別 | エクスポート・・・Symphony/オペレーションエクスポート  インポート・・・Symphony/オペレーションインポート |
| インポート種別 | 処理種別が「インポート」の場合に「通常」または「廃止を除く」が表示されます。 |
| ファイル名 | エクスポートの場合、「完了」になるとエクスポートデータが表示されるので、ダウンロードして使用してください。  インポートの場合、インポートしたデータが表示されます。 |
| 備考 | 選択したSymphonyとオペレーションのIDが表示されます。 |

## Symphony/オペレーションエクスポート

Symphonyまたはオペレーションを指定して、それに紐づくデータをエクスポートします。

紐づくデータについては、「[4.1 Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて](#_Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて)」を参照してください。

本機能は、とあるITA環境からデータをエクスポートして、別のITA環境にインポートする用途を想定しています。

[[メニューエクスポート]メニューはメニュー全体のデータをエクスポートするのに対して、本機能では紐づくデータ単位でエクスポートされます。

1. エクスポートするSymphonyとオペレーションを選択して、「エクスポート」ボタンを押下します。

**図 3‑7 Symphony/オペレーションエクスポート(1)**

1. 受付完了画面に遷移します。「Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理」ボタンを押下すると、[Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理]メニューに遷移して、エクスポートの状況確認と、エクスポートデータの取得が行えます。

****

**図 3‑8 Symphony/オペレーションエクスポート(2)**

## Symphony/オペレーションインポート

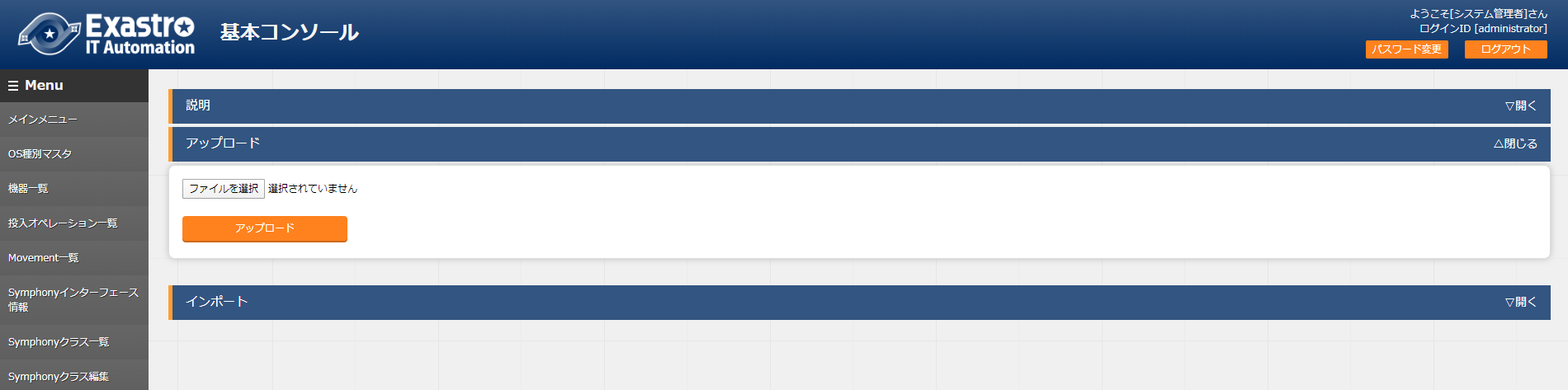
[Symphony/オペレーションエクスポート]メニューでエクスポートしたデータをインポートします。

※インポートするデータは、データの一意項目（表の左端の数値）をキーにインポートされます。同じ一意項目のデータがすでにある場合は上書きされます。

※インポート後のデータの最終更新者は、すべてインポートを実行したユーザになります。

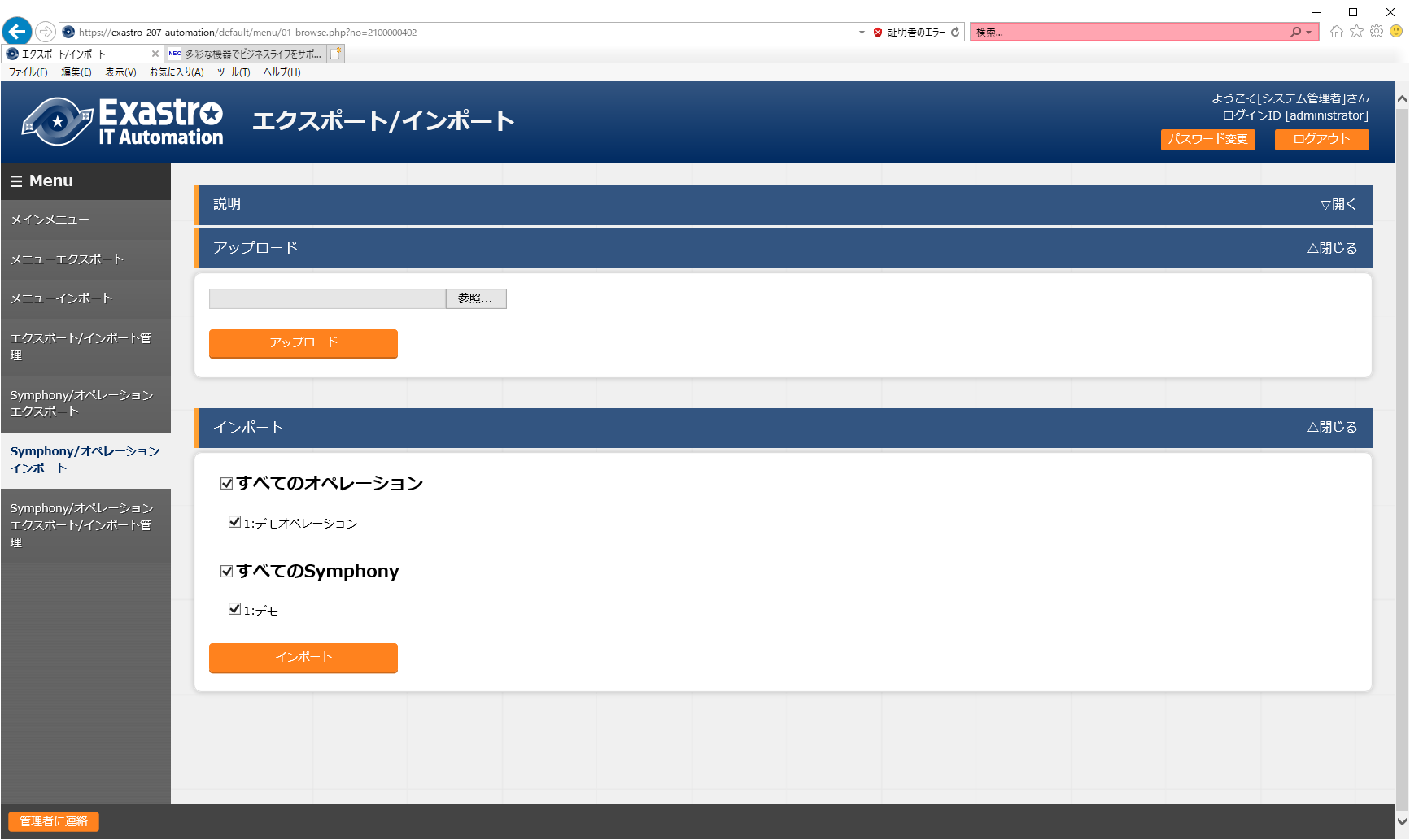
※本機能は、例えばA環境で登録したデータをエクスポートして、B環境にインポートして作業実行を行う、ということを想定しています。B環境にインポート後にデータを編集した場合、各機能が正常に動作しない可能性があります。

1. インポートするファイルを選択して「アップロード」ボタンを押下します。



**図 3‑9 Symphony/オペレーションインポート(1)**

1. インポートしたファイル内のSymphonyとオペレーションの一覧が表示されます。インポートするSymphonyとオペレーションを選択して「インポート」ボタンを押下します。



**図 3‑10 Symphony/オペレーションインポート(2)**

1. 受付画面に遷移します。「Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理」ボタンを押下すると、[Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理]メニューに遷移してインポートの状況確認が行えます。

****

**図 3-11 Symphony/オペレーションインポート(3)**

## Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理

[Symphony/オペレーションエクスポート]メニューで実行したエクスポートと、[Symphony/オペレーションインポート]メニューで実行したインポートの状況を管理します。

ステータスは、「未実行」、「実行中」、「完了」の順に変わります。処理種別は、「エクスポート」または「インポート」が表示されます。ファイル名は、エクスポートの場合は「完了」になるとエクスポートデータが表示されるので、ダウンロードして使用してください。インポートの場合はインポートしたデータが表示されます。

備考は、選択したSymphonyとオペレーションのIDが表示されます。



**図 3‑12 Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理**

画面の項目一覧は以下のとおりです。

**表3‑2一覧画面項目一覧（Symphony/オペレーションエクスポート/インポート管理）**

|  |  |
| --- | --- |
| **項目** | **説明** |
| 実行No. | 一意のIDが自動採番されます |
| ステータス | 「未実行」、「実行中」、「完了」の順に遷移します。  エラーが発生した場合は、「完了(異常)」になります。 |
| 処理種別 | エクスポート・・・Symphony/オペレーションエクスポート  インポート・・・Symphony/オペレーションインポート |
| ファイル名 | エクスポートの場合、「完了」になるとエクスポートデータが表示されるので、ダウンロードして使用してください。  インポートの場合、インポートしたデータが表示されます。 |
| 備考 | 選択したSymphonyとオペレーションのIDが表示されます。 |

# 備考

## Symphony/オペレーションエクスポートで取得できるデータについて

Symphony/オペレーションエクスポートで取得するデータは、紐づいているメニューを辿ってすべて取得します。各メニューの紐づけは以下となります。

### Symphonyエクスポート

|  |
| --- |
| **Movement詳細** |
| (PK)紐付項番 |
| Movement |
| プレイブック素材 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

**Ａｎｓｉｂｌｅ-Legacy**

**指定したSymphonyID**

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **Movement変数紐付管理** |
| (PK)紐付項番 |
| Movement |
| 変数名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **変数名一覧** |
| (PK)項番 |
| ・・・ |

１:playbook

|  |
| --- |
| **Symphonyクラス一覧** |
| SymphonyクラスID |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Movement一覧** |
| (PK)MovementID |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **プレイブック素材集** |
| (PK)素材ID |
| プレイブック素材 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **共通変数利用リスト** |
| (PK)No |
| File Type |
| Primary key |
| Variable name |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **グローバル変数管理** |
| (PK)項番 |
| グローバル変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

**Ａｎｓｉｂｌｅ-Pioneer**

**Ａｎｓｉｂｌｅ-LegacyRole**

**Terraform**

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **Symphony紐付Movement一覧** |
| (PK)Movement Class ID |
| Symphony Class No |
| Movement ID |
| ・・・ |

**Ａｎｓｉｂｌｅ-Pioneer**

|  |
| --- |
| **Movement詳細** |
| (PK)紐付項番号 |
| Movement |
| 対話種別 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **対話ファイル素材集** |
| (PK)素材ID |
| 対話種別 |
| OS種別 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **対話種別リスト** |
| (PK)項番 |
| 対話種別 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **Movement変数紐付管理** |
| (PK)紐付項番 |
| Movement |
| 変数名 |
| ・・・ |

1:対話ファイル

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **変数名一覧** |
| (PK)項番 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **共通変数利用リスト** |
| (PK)No |
| File Type |
| Primary key |
| Variable name |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **OS種別マスタ** |
| (PK)OS種別ID |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **グローバル変数管理** |
| (PK)項番 |
| グローバル変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Movement一覧** |
| (PK)Movement ID |
| ・・・ |

**Ａｎｓｉｂｌｅ-LegacyRole**

|  |
| --- |
| **Movement詳細** |
| (PK)紐付項番号 |
| Movement |
| ロールパッケージ名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ロールパッケージ管理** |
| (PK)項番 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **ロール名管理** |
| (PK)項番 |
| ロールパッケージ名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **共通変数利用リスト** |
| (PK)No |
| File Type |
| Primary key |
| Variable name |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **グローバル変数管理** |
| (PK)項番 |
| グローバル変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK) 素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **ロール変数名管理** |
| (PK)項番 |
| ロールパッケージ名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **Movement変数紐付管理** |
| (PK)紐付項番 |
| Movement |
| 変数名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **変数具体値管理** |
| (PK)項番 |
| ロールパッケージ |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **変数名一覧** |
| (PK)項番 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **読替変数一覧** |
| (PK)項番 |
| ロールパッケージ |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **メンバー変数管理** |
| (PK)項番 |
| 配列変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **多段変数最大繰返数管理** |
| (PK)項番 |
| メンバー変数名(繰返し有) |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **多段変数配列組合せ管理** |
| (PK)項番 |
| 変数名 |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **多段変数メンバー管理** |
| (PK)項番 |
| 変数名 |
| ・・・ |

3:ロールパック

|  |
| --- |
| **Movement一覧** |
| (PK)Movement ID |
| ・・・ |

**Terraform**

|  |
| --- |
| **Movement詳細** |
| (PK)紐付項番 |
| Movement |
| Module素材 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **module素材集** |
| (PK)Module素材ID |
| Module素材名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Workspaces管理** |
| (PK)WorkspaceID |
| Organization |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Organizations管理** |
| (PK)OrganizationID |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **PolicySet-Policy紐付管理** |
| (PK) PolicySet-Policy紐付ID |
| Policy Set |
| Policy |
| ・・・ |

隠しメニュー

|  |
| --- |
| **Module変数紐付管理** |
| (PK)項番 |
| Module素材 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Policy Sets管理** |
| (PK) PolicySet ID |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Movement一覧** |
| (PK)Movement ID |
| Organization:Workspace |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **PolicySet-Workspace紐付管理** |
| (PK) PolicySet-Workspace紐付ID |
| Policy Set |
| Organization:Workspace |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **Policies管理** |
| (PK) Policy ID |
| ・・・ |

### オペレーションエクスポート

**指定したOperationID**

|  |
| --- |
| **投入オペレーション一覧** |
| (PK)No |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **作業対象ホスト** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| ホスト |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **代入値管理** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| 具体値 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **機器一覧** |
| (PK)管理システム項番 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名名・ |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名・ |
| ・・・ |

**Ansible-Legacy**

**Ansible-Pioneer**

|  |
| --- |
| **作業対象ホスト** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| ホスト |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **代入値管理** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| 具体値 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **機器一覧** |
| (PK)管理システム項番 |
| OS種別 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名名・ |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名・ |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **OS種別マスタ** |
| (PK)OS種別ID |
| ・・・ |

**Ａｎｓｉｂｌｅ-LegacyRole**

**Terraform**

**Ａｎｓｉｂｌｅ-LegacyRole**

|  |
| --- |
| **代入値管理** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| 具体値 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **機器一覧** |
| (PK)管理システム項番 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **テンプレート管理** |
| (PK)素材ID |
| テンプレート埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **ファイル管理** |
| (PK)素材ID |
| ファイル埋込変数名 |
| ・・・ |

|  |
| --- |
| **作業対象ホスト** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| ホスト |
| ・・・ |

**Terraform**

|  |
| --- |
| **代入値管理** |
| (PK)項番 |
| オペレーション |
| ・・・ |